

県内の景気動向

概況（2016年9月）

景気は、拡大の動きが強まる

消費関連では、スーパーが前年を上回る

観光関連では、入域観光客が前年を上回る

9月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店は催事効果や外国客による化粧品の消費が堅調なことなどから前年を上回り、スーパーは飲料の売上が増加したことから前年を上回った。耐久消費財では、新車販売は軽自動車の動きが鈍かったことから前年を下回り、電気製品卸売は洗濯機や電子レンジの販売が好調なことなどから前年を上回った。

建設関連では、公共工事は国、県、市町村が増加したことから前年を上回った。建築着工床面積（8月）は居住用、非居住用ともに減少したことから前年を下回り、新設住宅着工戸数（8月）は全ての項目で減少したことから前年を下回った。建設受注額は、公共工事が増加して前年を上回った。

観光関連では、入域観光客数は国内客、外国客ともに増加したことから、引き続き前年を上回った。主要ホテルでは、稼働率、売上高は前年を上回ったが、宿泊客室単価は前年を下回った。

総じてみると、消費関連、観光関連が好調に推移し、建設関連も概ね好調なことから、県内景気は拡大の動きが強まっている。

消費関連

百貨店売上高は、催事効果や外国人観光客による化粧品の消費が堅調なことなどから2カ月ぶりに前年を上回った。スーパー売上高は、前年より気温が高く推移した影響で、衣料品は秋物商品の動きが鈍かったことなどから減少したが、食料品は、飲料の売上が増加したことなどから18カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、普通自動車は好調に推移したものの、軽自動車の動きが鈍かったことから減少し6カ月ぶりに前年を下回った。電気製品卸売販売額は、洗濯機や電子レンジの販売が好調なことなどから増加し、3カ月連続で前年を上回った。

先行きは、高い消費マインドや外国人観光客の増加などから引続き好調を維持するとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、国、県、市町村が増加したことから、3カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積（8月）は、居住用、非居住用ともに減少したことから2カ月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数（8月）は、持家、貸家、分譲、給与の全ての項目で減少したことから2カ月ぶりに前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事は減少したが、公共工事は増加したことから、3カ月連続で前年を上回った。建設資材関連では、セメント、生コンは公共工事向け出荷の減少などにより前年を下回った。鋼材は単価の低下などから前年を下回り、木材は住宅関連工事向け出荷の減少などから前年を下回った。

先行きは、公共工事や新設住宅着工が高水準で推移することが予想され、引き続き概ね好調な動きが続くものとみられる。

観光関連

入域観光客数は、48カ月連続で前年を上回った。国内客は6カ月連続で前年を上回り、外国客は38カ月連続で前年を上回った。方面別では台湾、韓国、中国本土などからの入域が観光客数増加に寄与した。

県内主要ホテルは、稼働率、売上高は前年を上回ったが、宿泊客室単価は前年を下回った。主要観光施設入場者数は6カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに2カ月連続で前年を下回った。

先行きは、外国客の旺盛な旅行需要を背景に、好調に推移するものとみられる。

雇用関連

新規求人数（8月）は、前年同月比 12.1%増となり 2 カ月ぶりに前年を上回った。産業別にみると、運輸業・郵便業、卸売業・小売業などで増加し、情報通信業、公務・その他などで減少した。有効求人倍率（季調値、8月）は 1.00 倍と、前月より 0.04 ポイント低下した。完全失業率（季調値、8月）は 3.5%と前月より 1.0%ポイント改善した。

その他

消費者物価指数（総合、8月）は、食料などが上昇したが、光熱・水道および交通・通信などは下落したことから、前年同月比 0.3%減と 4 カ月連続で前年を下回った。

企業倒産は、件数が 2 件で前年同月を 6 件下回った。負債総額は 2 億 4,000 万円となり、前年同月比 63.0%の減少だった。

りゅうぎん調査（2016年9月）

増減率(%)

| | 前年同月比 | 前年同期比 (2016.7-2016.9) |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1. 消費関連 | | |
| (1) 百貨店(金額) | 2.0 | 5.2 |
| (2) スーパー(既存店)(金額) | 1.7 | 2.0 |
| (3) スーパー(全店)(金額) | 1.9 | 2.3 |
| (4) 新車販売(台数) | ▲ 5.2 | 2.0 |
| (5) 電気製品卸売(金額) | 0.5 | 1.4 |
| 2. 建設関連 | | |
| (1) 公共工事請負金額(金額) | 22.8 | 10.7 |
| (2) 建築着工床面積(m ²) | (8月) ▲ 46.2 | (6-8月) ▲ 18.2 |
| (3) 新設住宅着工戸数(戸) | (8月) ▲ 38.7 | (6-8月) ▲ 18.3 |
| (4) 建設受注額(金額) | 5.8 | 10.0 |
| (5) セメント(トン数) | ▲ 17.3 | ▲ 14.1 |
| (6) 生コン(m ³) | ▲ 21.7 | ▲ 21.8 |
| (7) 鋼材(金額) | ▲ 13.5 | ▲ 12.0 |
| (8) 木材(金額) | ▲ 13.3 | ▲ 13.8 |
| 3. 観光関連 | | |
| (1) 入域観光客数(人数) | 9.4 | 12.9 |
| うち外国客数(人数) | 36.0 | 39.7 |
| (2) 県内主要ホテル稼働率 | (前年同月差) P 1.3 (実数) P 90.2 | (前年同期差) P 1.1 (実数) P 88.4 |
| (3) " 売上高(金額) | P 0.3 | P 4.1 |
| (4) 観光施設入場者数(人数) | P 0.9 | P 5.1 |
| (5) ゴルフ場入場者数(人数) | ▲ 4.5 | 3.1 |
| (6) " 売上高(金額) | ▲ 3.1 | 2.8 |
| 4. その他 | | |
| (1) 県内新規求人数(人数) | (8月) 12.1 | (6-8月) 9.2 |
| (2) 有効求人倍率(季調値) | (実数、8月) 1.00 | (実数、6-8月) 1.02 |
| (3) 消費者物価指数(総合) | (8月) ▲ 0.3 | (6-8月) ▲ 0.3 |
| (4) 企業倒産件数(件数) | (前年同月差) ▲ 6 | (前年同期差) ▲ 12 |
| (5) 広告収入(県内マスコミ)(金額) | (8月) ▲ 3.8 | (6-8月) ▲ 1.6 |

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

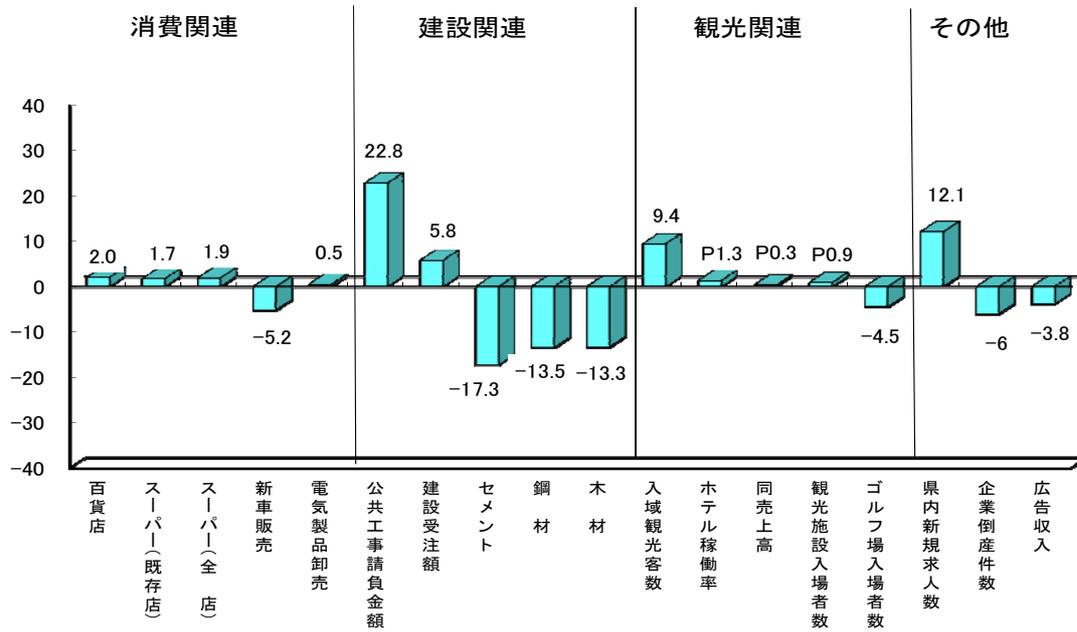
(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2016年7月より調査先を26ホテルから25ホテルとした。

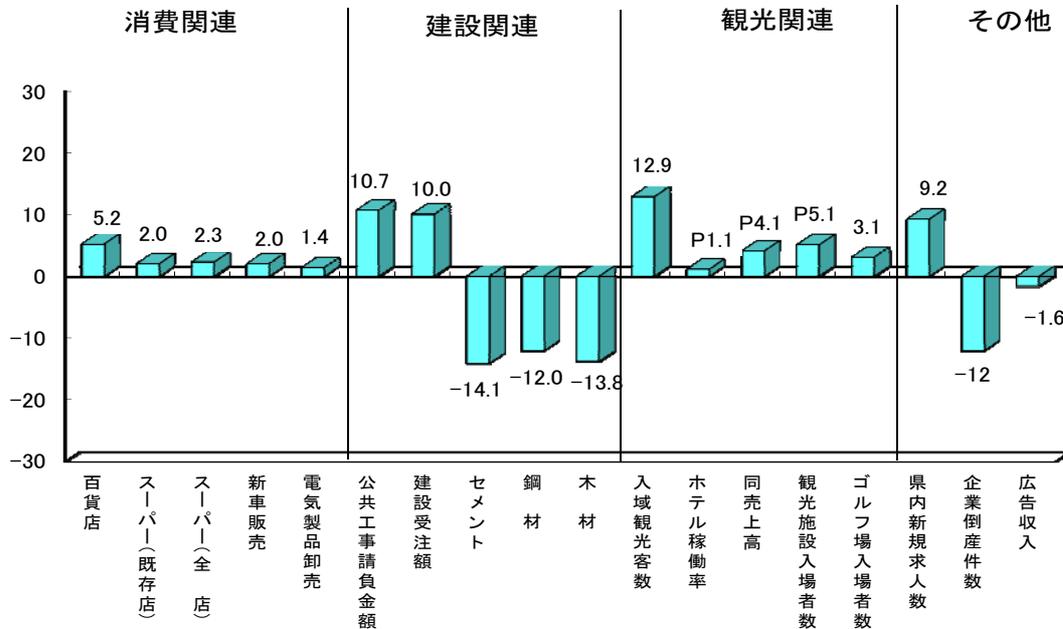
(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

項目別グラフ(単月、2016年9月)



(注) 広告収入は16年8月分。数値は前年比 (%)。
 ホテル稼働率 (%ポイント)、企業倒産件数 (件) は前年差。Pは速報値。

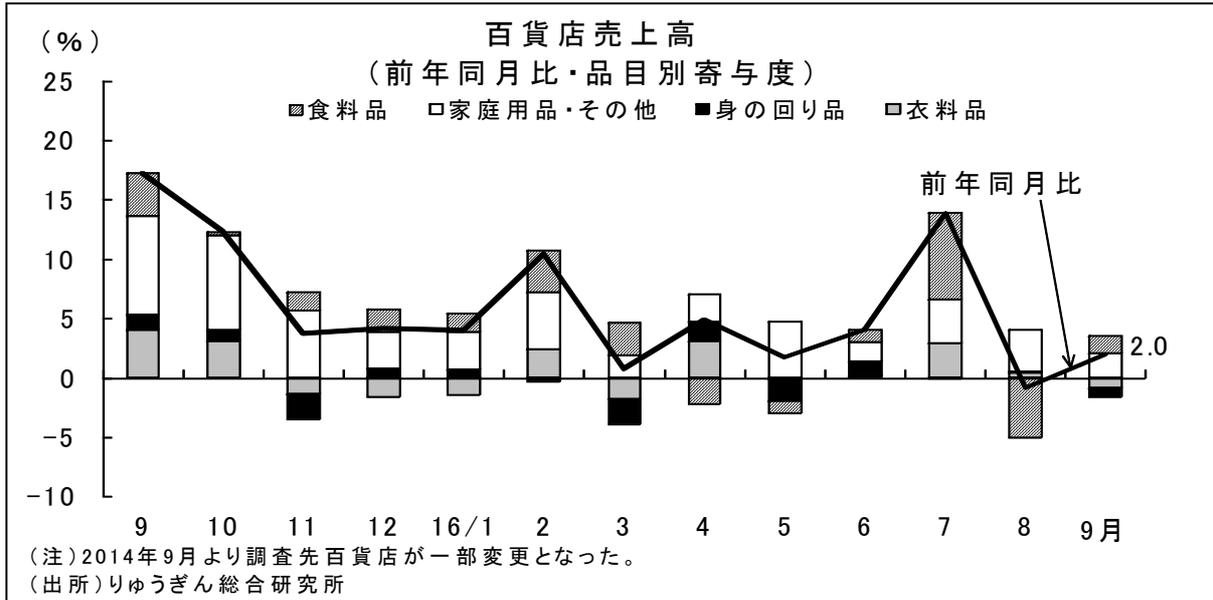
項目別グラフ(3カ月、2016年7月～9月)



(注) 広告収入は16年6月～8月分。数値は前年比 (%)。
 ホテル稼働率 (%ポイント) は前年差。企業倒産件数 (件) は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

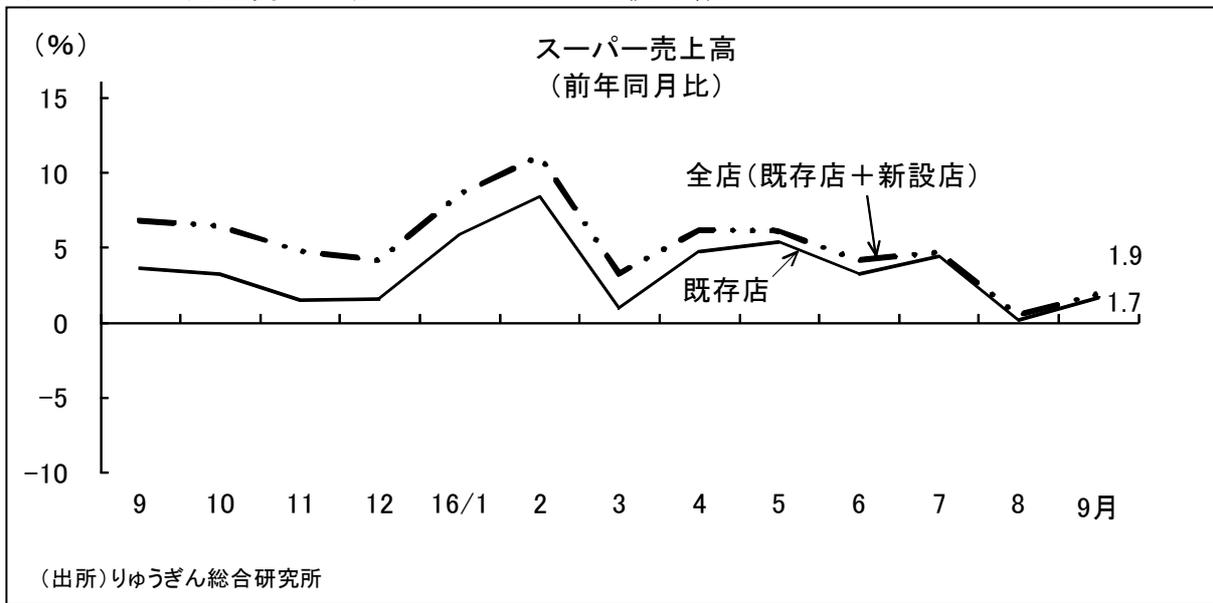
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：2カ月ぶりに増加



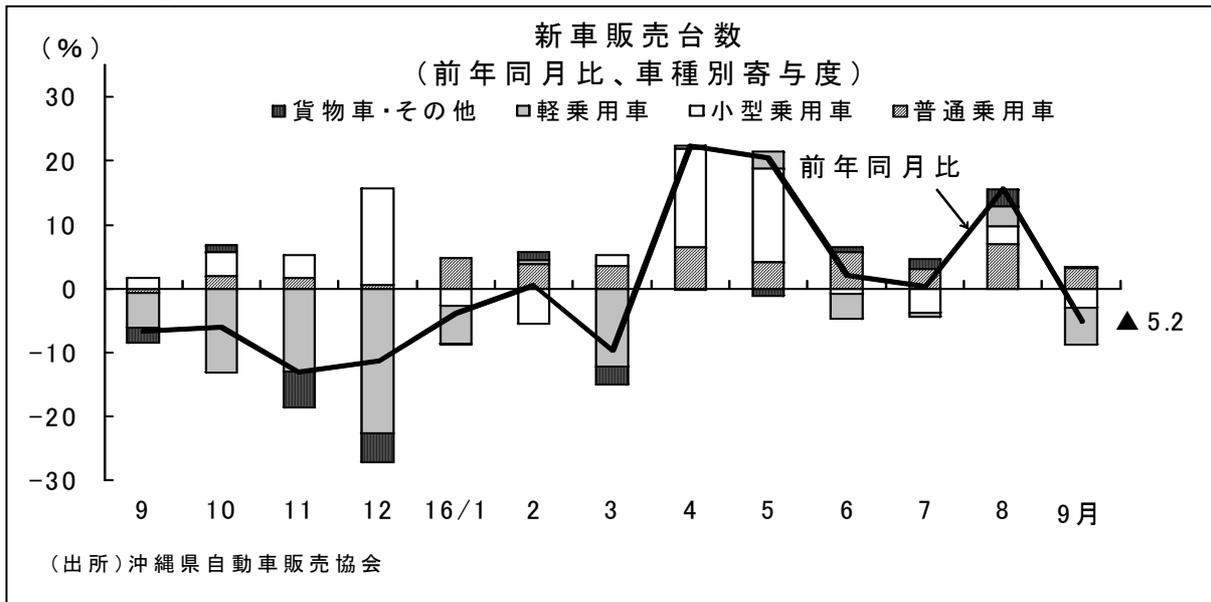
- 百貨店売上高は、前年同月比 2.0%増と2カ月ぶりに前年を上回った。食料品は、物産展の開催効果などから増加し、家庭用品・その他は、高単価の家庭用品の需要は減ったものの、催事効果や外国人観光客による化粧品の消費が堅調なことなどから増加した。衣料品および身の回り品は、前年より気温が高く推移したことで秋物商品の動きが鈍かったことなどから減少した。
- 品目別にみると、食料品 (同 6.3%増)、家庭用品・その他 (同 6.4%増) は増加し、衣料品 (同 2.4%減)、身の回り品 (同 7.8%減) は減少した。

(2) スーパー売上高：全店ベースは18カ月連続で増加



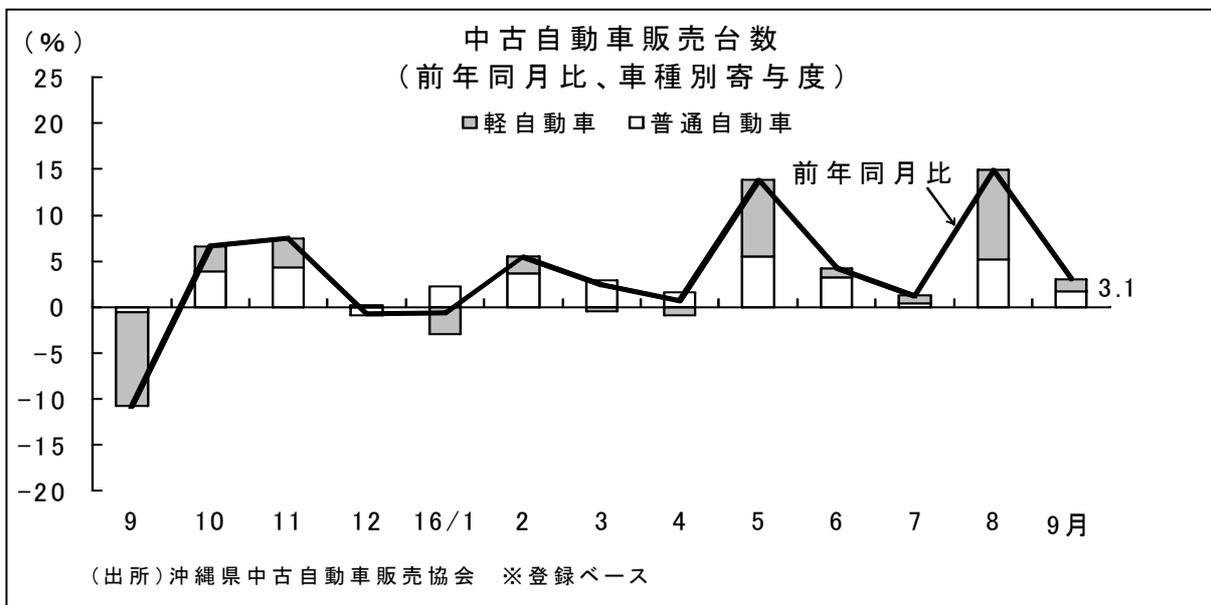
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 1.7%増と18カ月連続で前年を上回った。
- 食料品は、野菜高騰の影響を受けたものの、前年より気温が高く推移したことで飲料などの売上が好調だったことなどから同 2.5%増となった。衣料品は、シルバーウィークの休日数が前年より1日減ったことや秋物商品の動きが鈍かったことなどから同 1.0%減だった。住居関連は、化粧品や家電などの需要が減少したことなどから同 0.3%減となった。
- 全店ベースでは1.9%増と18カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：6カ月ぶりに減少



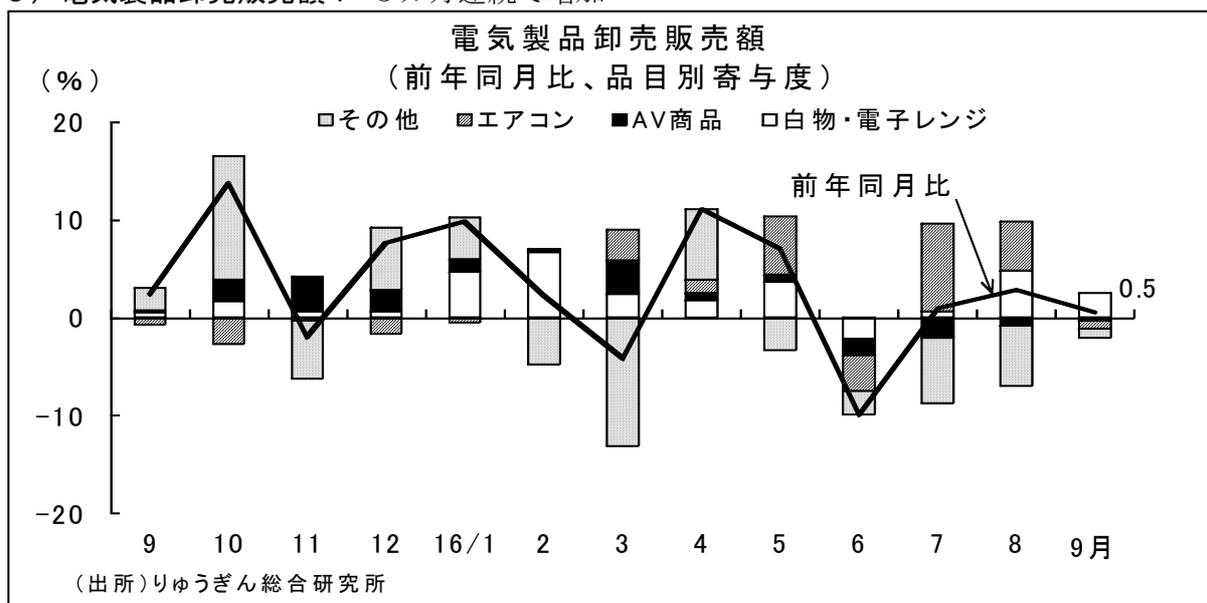
- ・ 新車販売台数は 3,744 台となり、前年同月比 5.2%減と 6 カ月ぶりに前年を下回った。普通乗用車は、自家用車需要の伸長などから好調を維持し前年を上回った。小型乗用車はレンタカー需要の減少がみられ、軽乗用車は自家用車の動きが鈍く前年を下回った。
- ・ 普通自動車（登録車）は 1,642 台（同 3.7%増）で、うち普通乗用車は 552 台（同 31.4%増）、小型乗用車は 723 台（同 13.7%減）であった。軽自動車（届出車）は 2,102 台（同 11.1%減）で、うち軽乗用車は 1,779 台（同 11.3%減）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：8カ月連続で増加



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は 1 万 6,668 台で前年同月比 3.1%増と 8 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車は 6,406 台（同 4.6%増）、軽自動車は 10,262 台（同 2.1%増）となった。

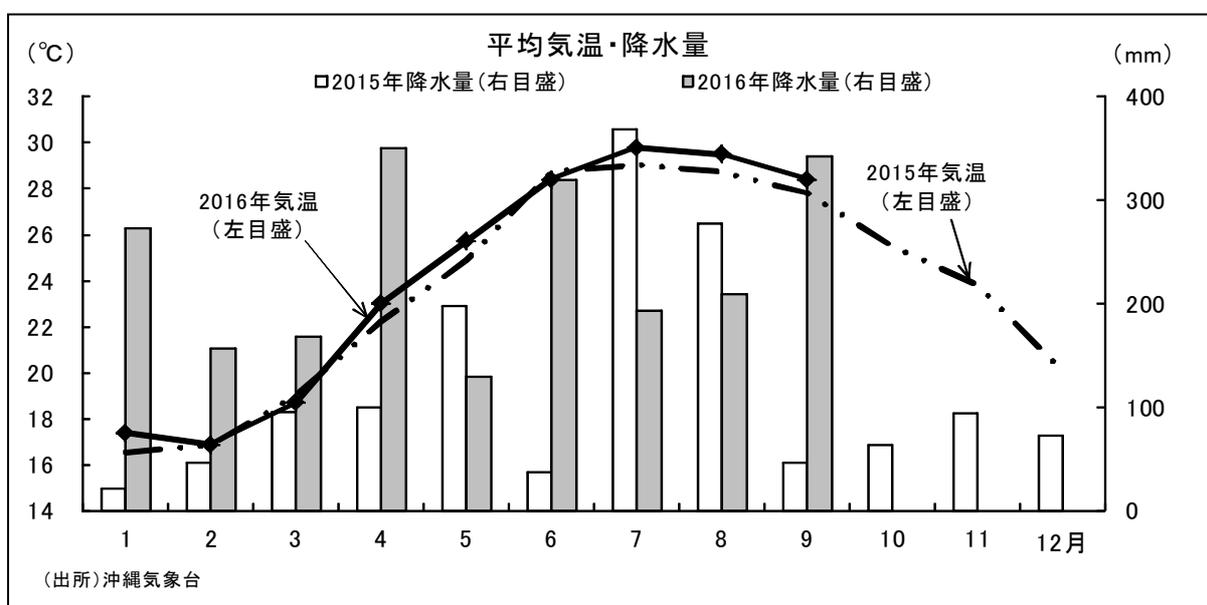
(5) 電気製品卸売販売額：3カ月連続で増加



- 電気製品卸売販売額は、エアコンの需要は減少したものの、洗濯機や電子レンジなどの販売が好調なことなどから、前年同月比0.5%増と3カ月連続で前年を上回った。
- 品目別にみると、AV商品ではDVDレコーダーが同2.1%減、テレビが同3.9%減、エアコンが同8.1%減、白物では洗濯機が同20.1%増、冷蔵庫が同0.4%増、太陽光発電システムを含むその他は同1.6%減となった。

(参考)

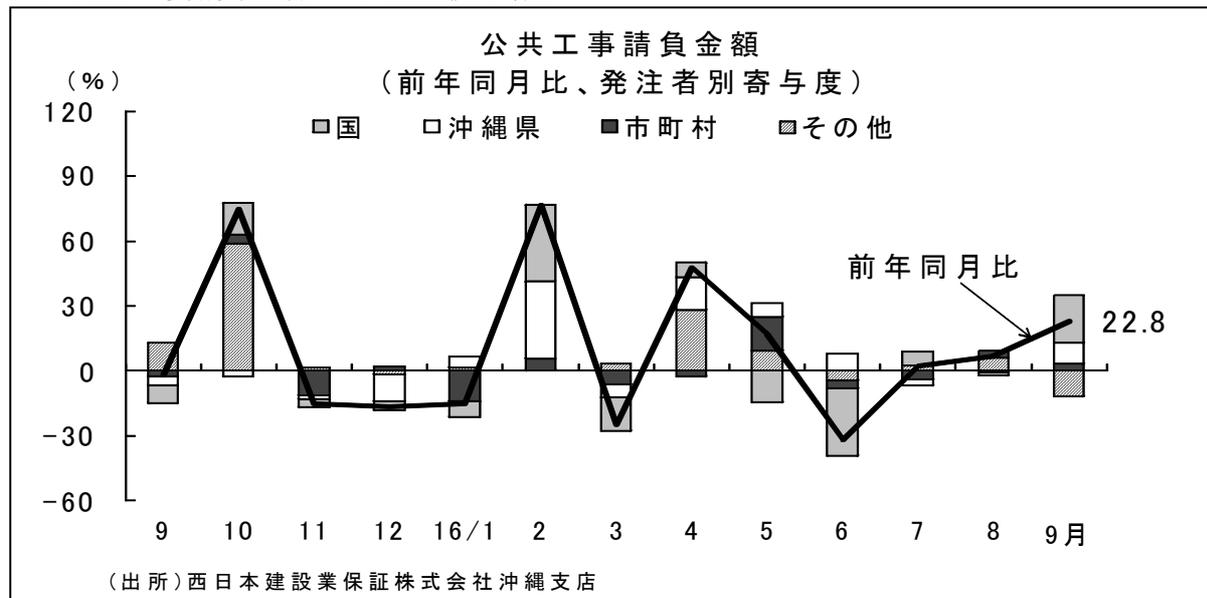
◇ 気象:平均気温・降水量 (那覇)



- 平均気温は28.4°Cとなり、平年(27.6°C)、前年同月(27.8°C)より高かった。降水量は342.0mmと前年同月(46.5mm)よりかなり多かった。
- 沖縄地方は、台風や前線、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。沖縄県に接近した台風は4個あり、八重山地方では、17日は台風第16号、27日は第17号の影響で大荒れの天気となった。平均気温は平年よりかなり高く、降水量は多く、日照時間はかなり少なかった。

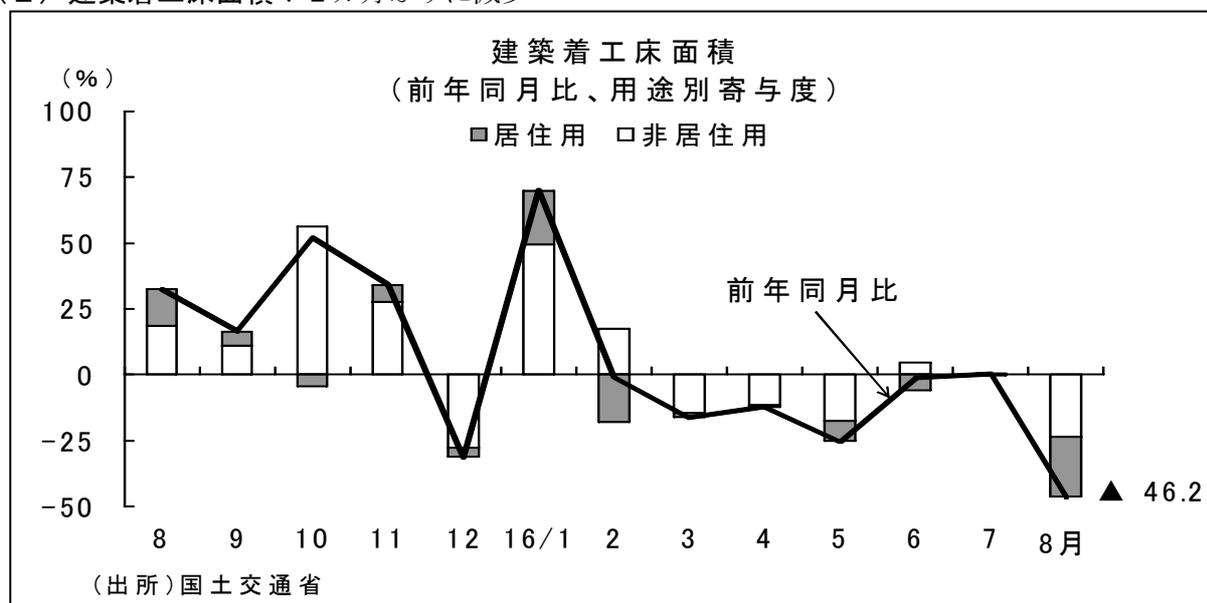
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：3カ月連続で増加



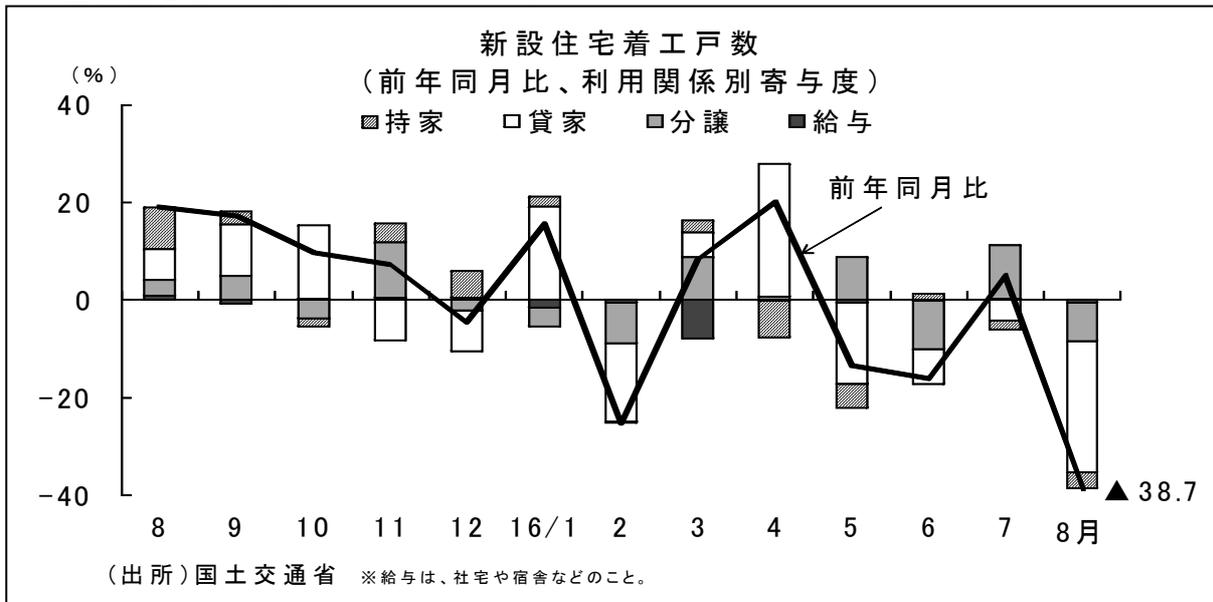
- 公共工事請負金額は、378億6,700万円の前年同月比22.8%増となり、国、県、市町村が増加したことから、3カ月連続で前年を上回った。
- 発注者別では、国(同114.5%増)、県(同31.0%増)、市町村(同9.2%増)は増加し、独立行政法人等・その他(同79.9%減)は減少した。
- 大型工事としては、那覇空港滑走路増設2工区埋立工事や那覇空港事務所管制塔新築工事などがあった。

(2) 建築着工床面積：2カ月ぶりに減少



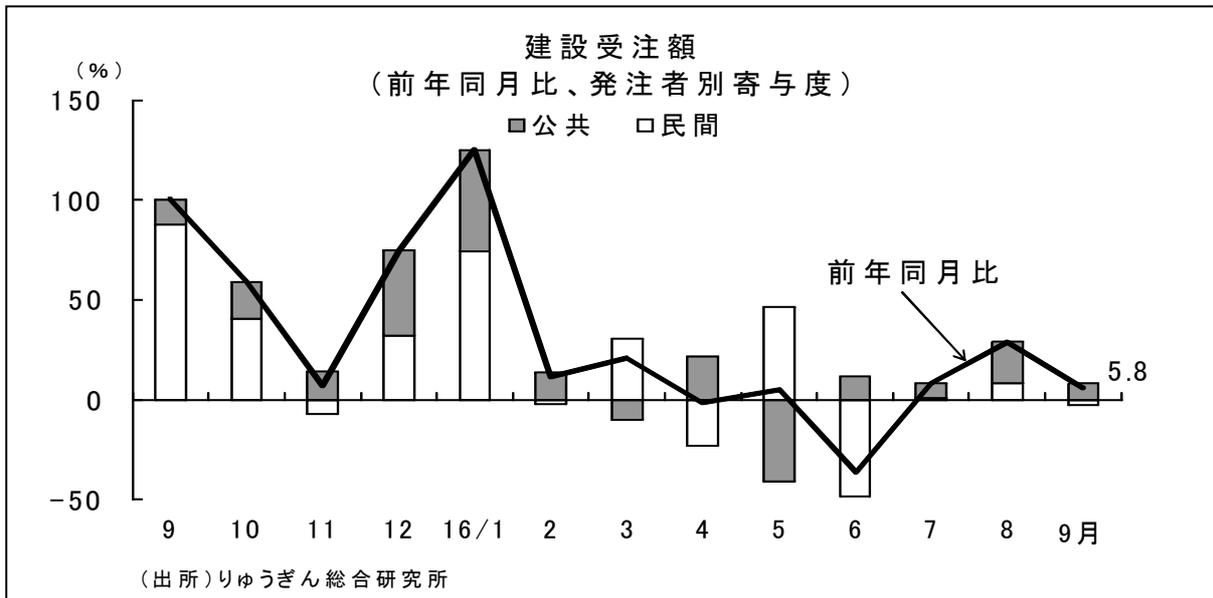
- 建築着工床面積(8月)は11万9,896㎡となり、居住用、非居住用ともに減少したことから、前年同月比46.2%減となり、2カ月ぶりに前年を下回った。用途別では、居住用は同38.9%減、非居住用は同56.3%減となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では居住産業併用は増加したが、居住専用は減少した。非居住用では、その他のサービス業用などが増加し、教育・学習支援業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月ぶりに減少



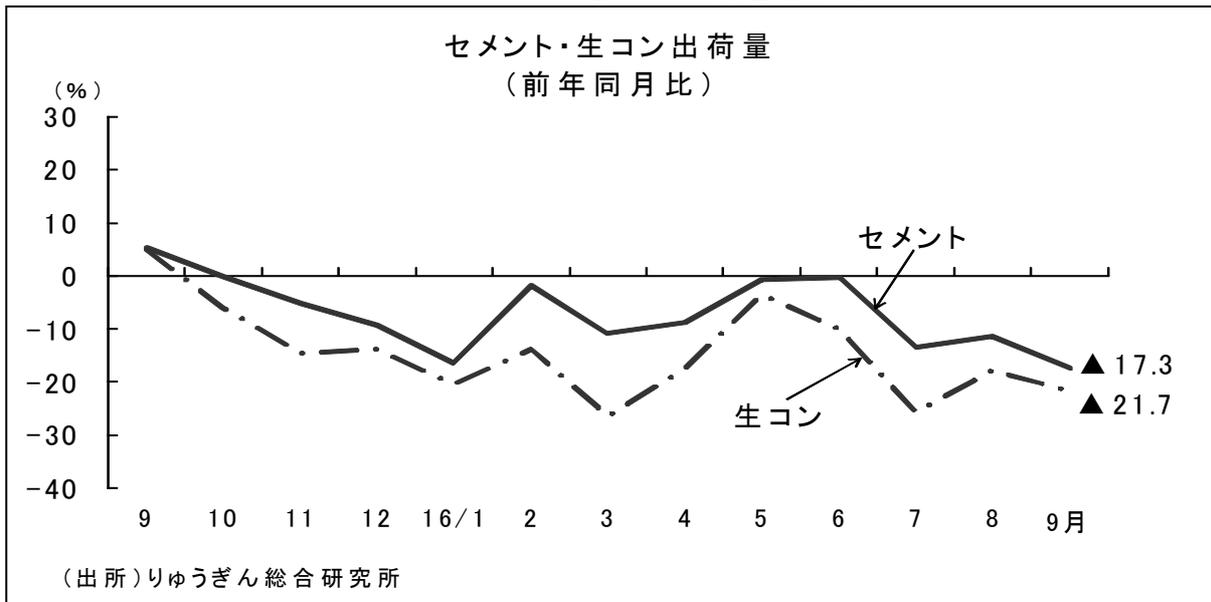
- ・ 新設住宅着工戸数（8月）は1,082戸となり、持家、貸家、分譲、給与の全ての項目で減少したことから、前年同月比38.7%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 利用関係別では、持家（291戸）が同16.4%減、貸家（674戸）が同41.3%減、分譲（116戸）が同54.5%減、給与（1戸）が同91.7%減と減少した。

(4) 建設受注額：3カ月連続で増加



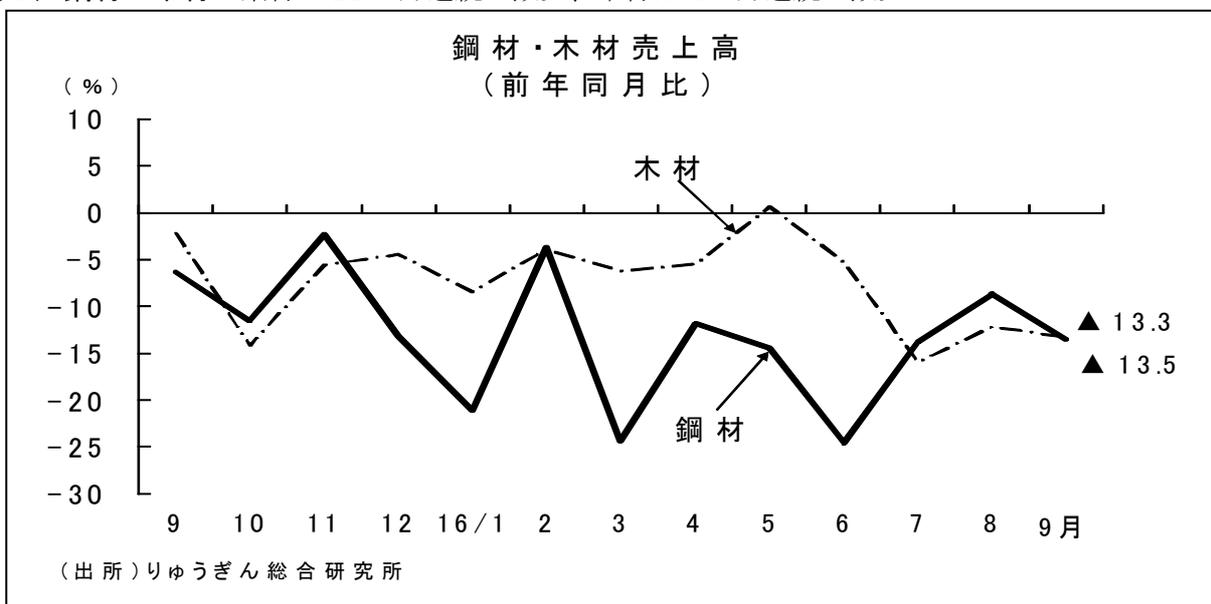
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：20社）は、民間工事は減少したが、公共工事は増加したことから、前年同月比5.8%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事（同29.5%増）は4カ月連続で増加し、民間工事（同3.7%減）は3カ月ぶりに減少した。

(5) セメント・生コン：セメント、生コンともに12カ月連続で減少



- ・セメント出荷量は7万4,979トンとなり、前年同月比17.3%減と12カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量は13万6,626m³で同21.7%減となり、公共工事における空港関連向け出荷や、民間工事における医療関連向け出荷の減少などから12カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、公共施設向け出荷などが増加し、空港関連向け出荷などが減少した。民間工事では、分譲マンション向け出荷などが増加し、医療関連向け出荷などが減少した。

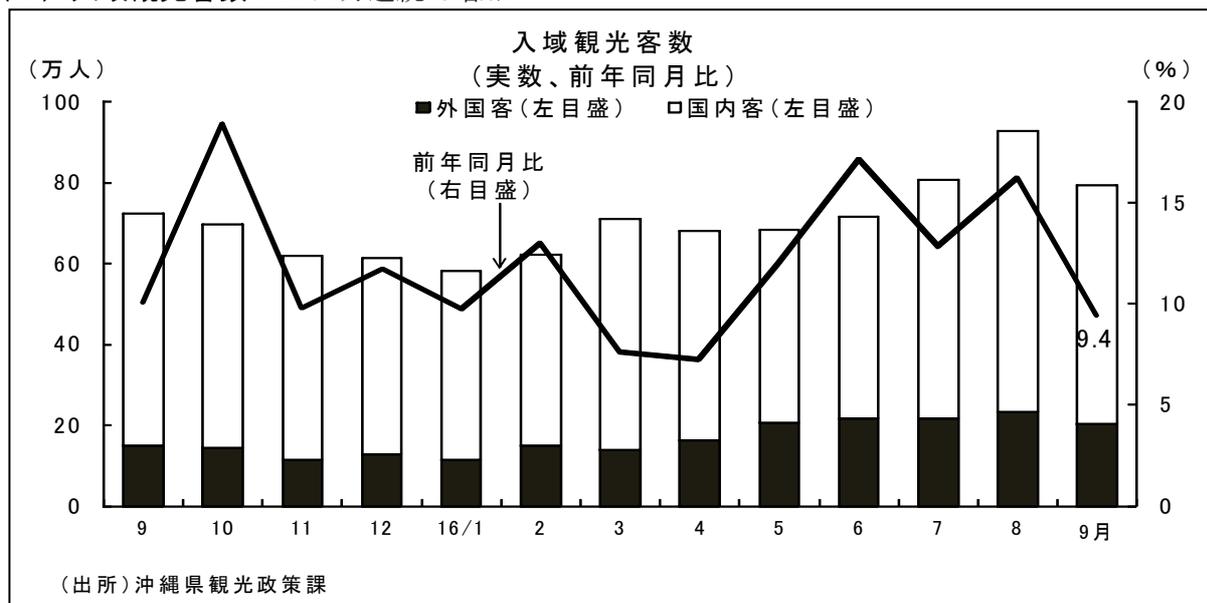
(6) 鋼材・木材：鋼材は21カ月連続で減少、木材は4カ月連続で減少



- ・鋼材売上高は、単価の低下や工事の進捗が鈍いことなどから、前年同月比13.5%減と21カ月連続で前年を下回った。
- ・木材売上高は、住宅関連工事向け出荷の減少などから同13.3%減と4カ月連続で前年を下回った。

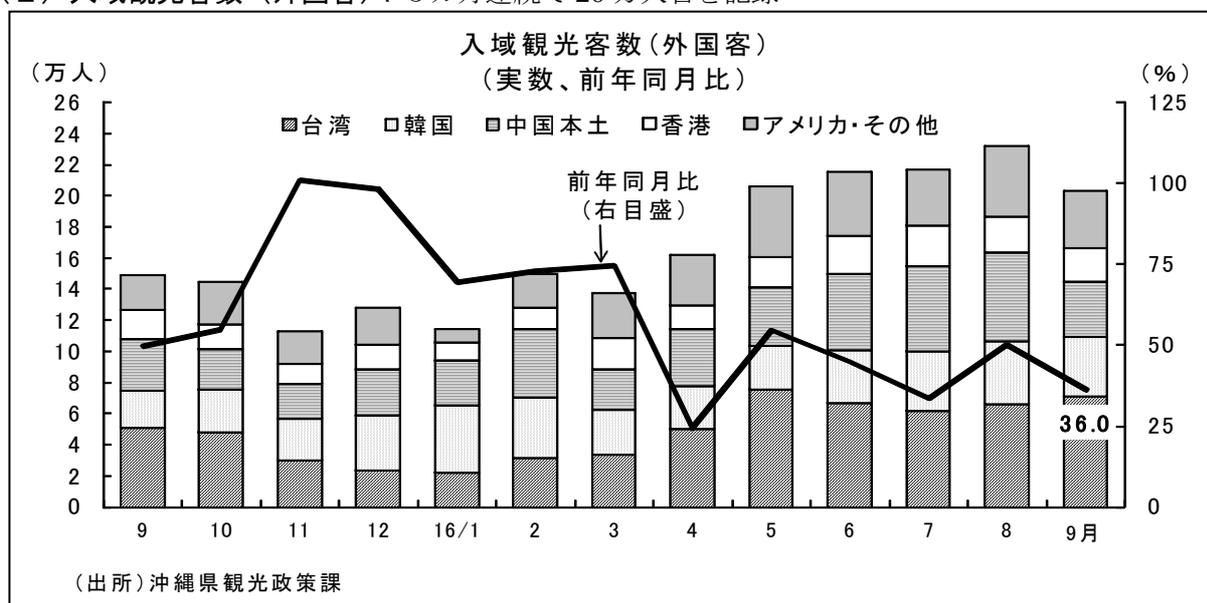
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：48 カ月連続で増加



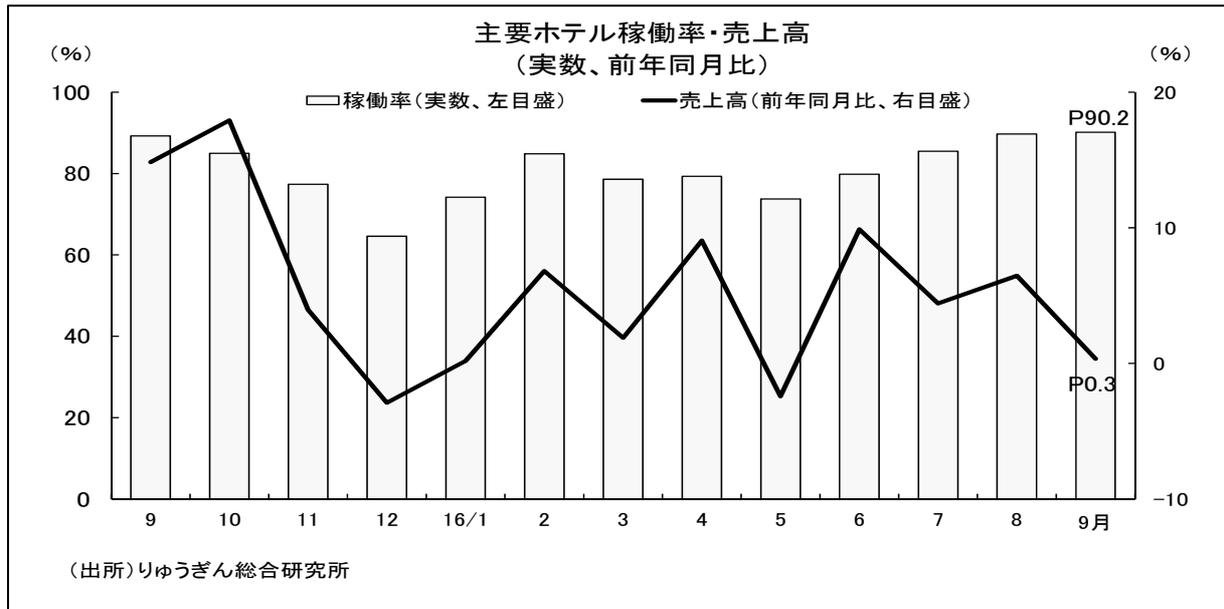
- 入域観光客数は、前年同月比 9.4% 増の 79 万 3,000 人と、48 カ月連続で前年を上回った。国内客、外国客ともに増加した。国内客は、同 2.5% 増の 58 万 9,600 人となり 6 カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は 71 万 3,800 人 (同 5.5% 増) と 48 カ月連続で前年を上回った。海路は 7 万 9,200 人 (同 65.7% 増) と 16 カ月連続で前年を上回った。

(2) 入域観光客数 (外国客)：5 カ月連続で 20 万人台を記録



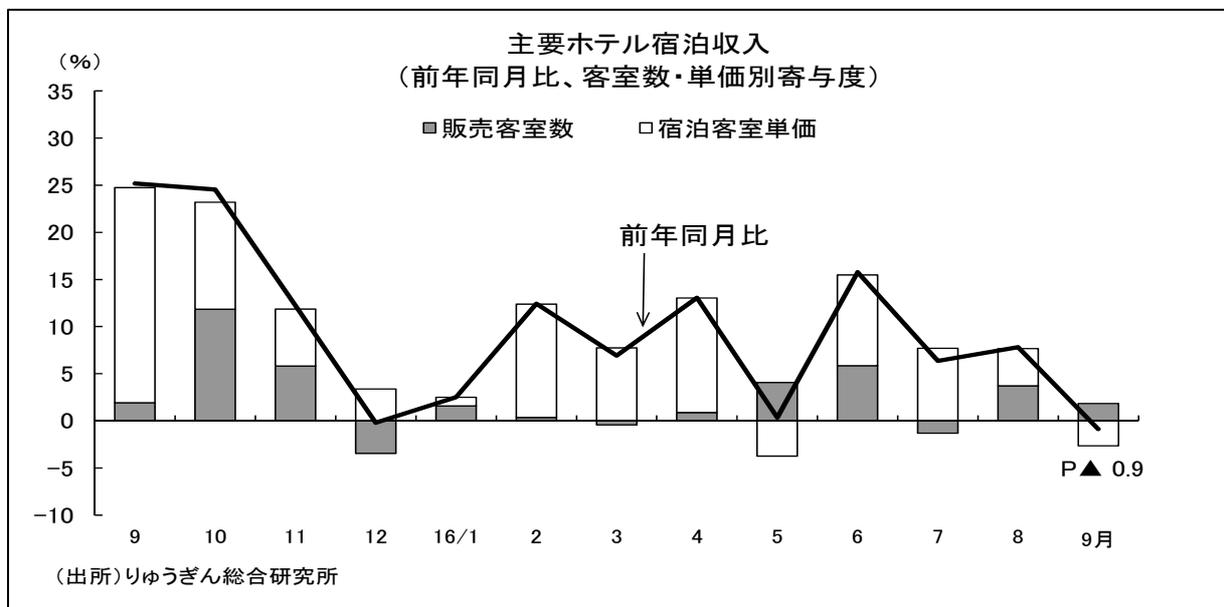
- 入域観光客数 (外国客) は、航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数の増加などから前年同月比 36.0% 増の 20 万 3,400 人となり、38 カ月連続で前年を上回った。
- 国籍別では、台湾 7 万 1,400 人 (同 39.5% 増)、韓国 3 万 8,200 人 (同 61.2% 増)、中国本土 3 万 5,500 人 (同 5.7% 増)、香港 2 万 1,200 人 (同 12.8% 増)、アメリカ・その他 3 万 7,100 人 (同 66.4% 増) であった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は2カ月連続で上昇、売上高は4カ月連続で増加



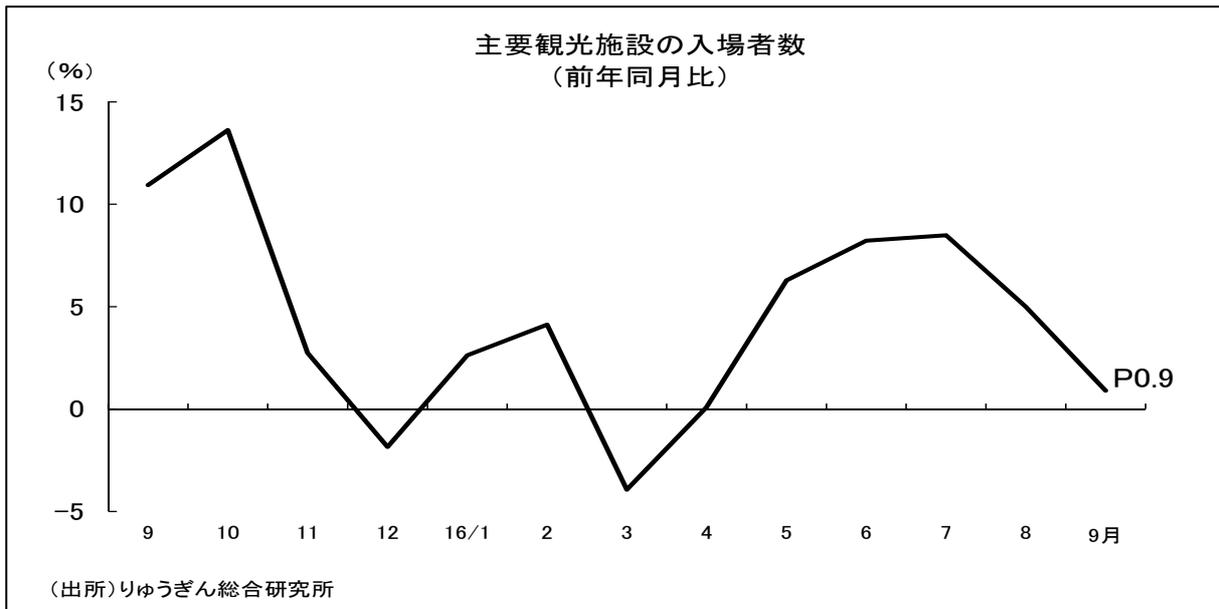
- 主要ホテル（速報値）は、客室稼働率は90.2%となり、前年同月比1.3%ポイント上昇し2カ月連続で前年を上回った。売上高は同0.3%増と4カ月連続で前年を上回った。
- 那覇市内ホテル（速報値）は、客室稼働率は89.7%と同0.4%ポイント上昇し2カ月連続で前年を上回り、売上高は同1.4%減と4カ月ぶりに前年を下回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率は90.4%と同1.7%ポイント上昇して2カ月連続で前年を上回り、売上高は同0.8%増と4カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：9カ月ぶりに減少



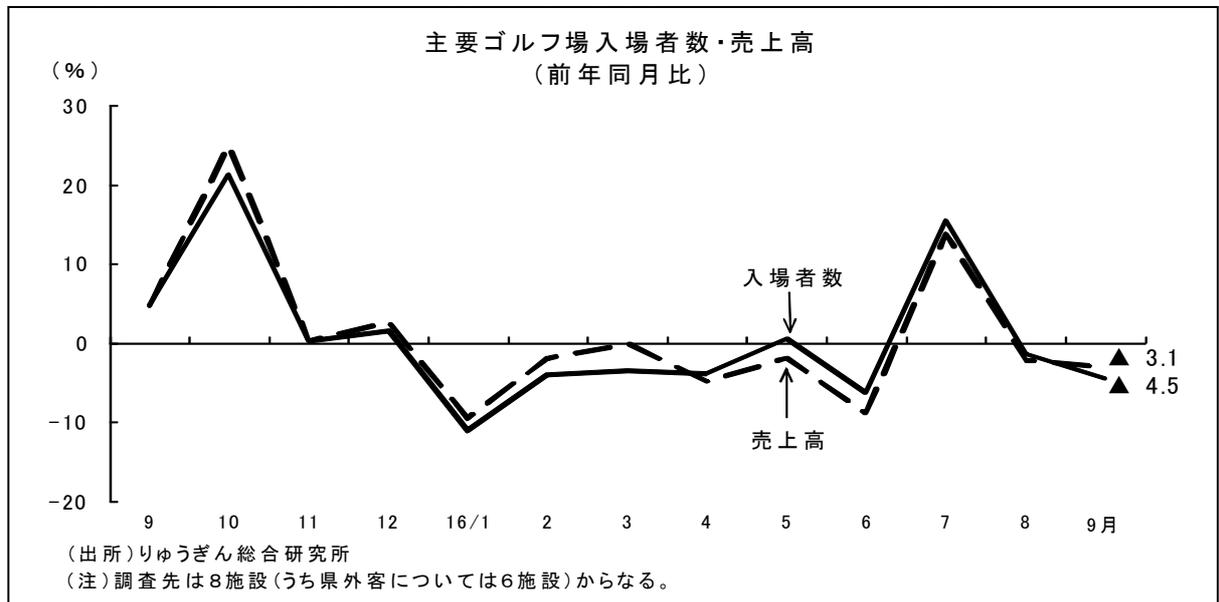
- 主要ホテル売上高のうち宿泊収入（速報値）は、販売客室数（数量要因）は上昇したが、宿泊客室単価（価格要因）は減少し、前年同月比0.9%減と9カ月ぶりに前年を下回った。
- 那覇市内ホテル（速報値）は、販売客室数は上昇、宿泊客室単価は減少し、同1.0%減と31カ月ぶりに前年を下回った。リゾート型ホテルは、販売客室数は上昇、宿泊客室単価は減少し、同0.8%減と4カ月ぶりに前年を下回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：6カ月連続で増加



- 主要観光施設（速報値）の入場者数は、前年同月比 0.9%増となり、6カ月連続で前年を上回った。

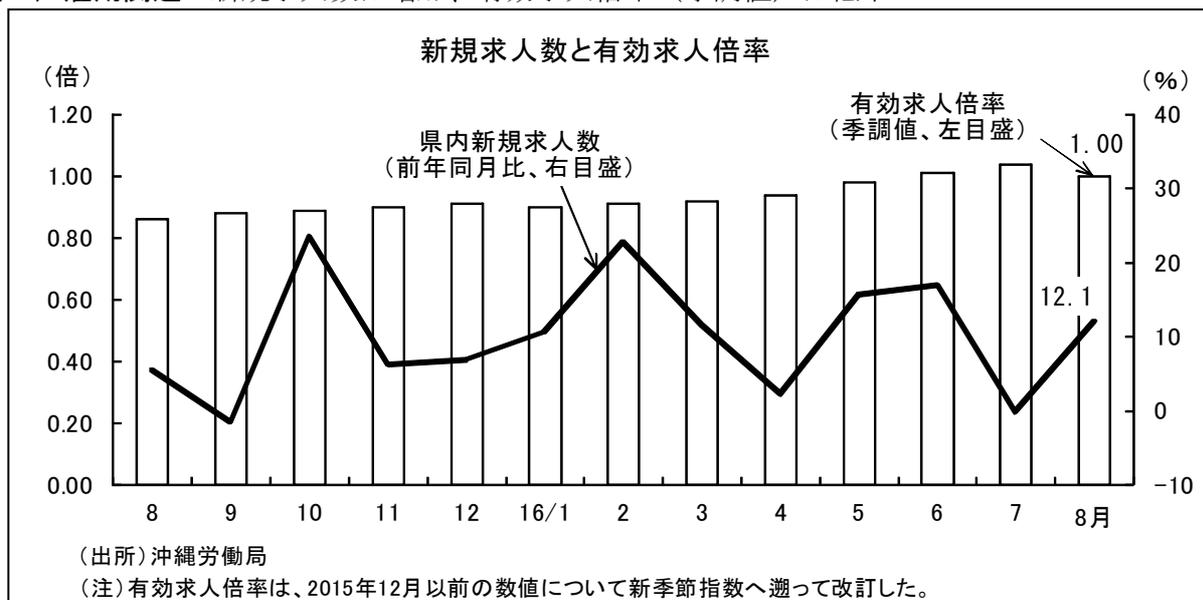
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数、売上高ともに2カ月連続で減少



- 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 4.5%減と2カ月連続で前年を下回った。県内客は前年を下回り、県外客は前年を上回った。
- 売上高は同 3.1%減と2カ月連続で前年を下回った。

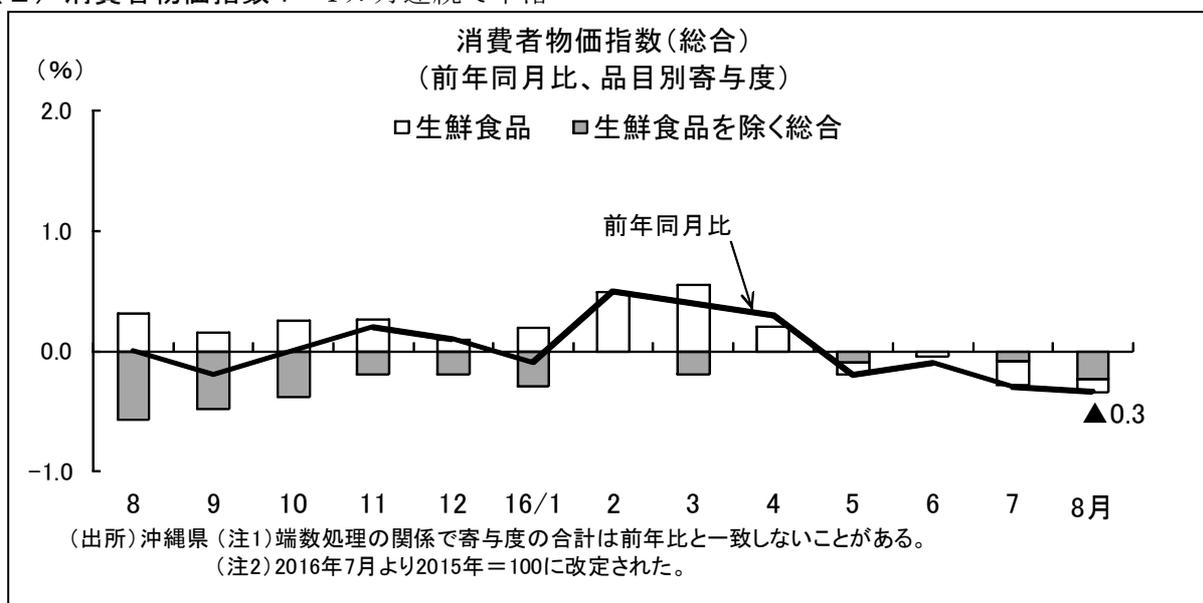
4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は増加、有効求人倍率（季調値）は低下



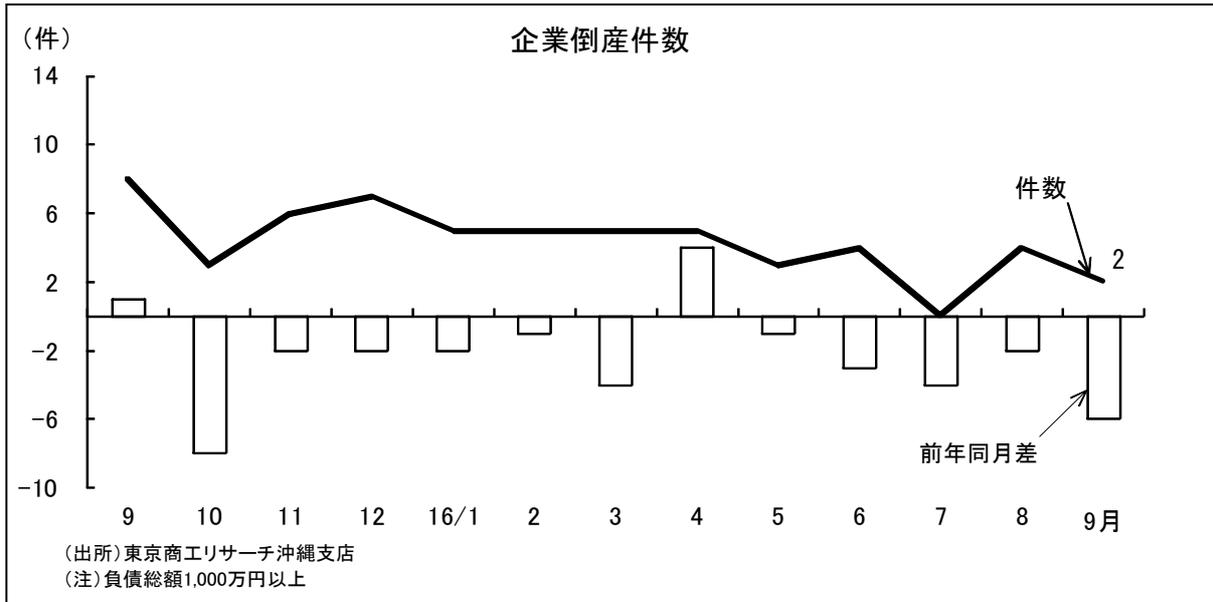
- 新規求人数（8月）は、前年同月比 12.1%増となり 2 カ月ぶりに前年を上回った。産業別にみると、運輸業・郵便業、卸売業・小売業などで増加し、情報通信業、公務・その他などで減少した。有効求人倍率（季調値、8月）は 1.00 倍と、前月より 0.04 ポイント低下した。
- 労働力人口（8月）は、69 万 7,000 人で同数となり、就業者数は、67 万 1,000 人で同 1.4%増となった。完全失業者数は 2 万 7,000 人で同 22.9%減となり、完全失業率（季調値、8月）は 3.5%と前月より 1.0%ポイント改善した。

(2) 消費者物価指数： 4 カ月連続で下落



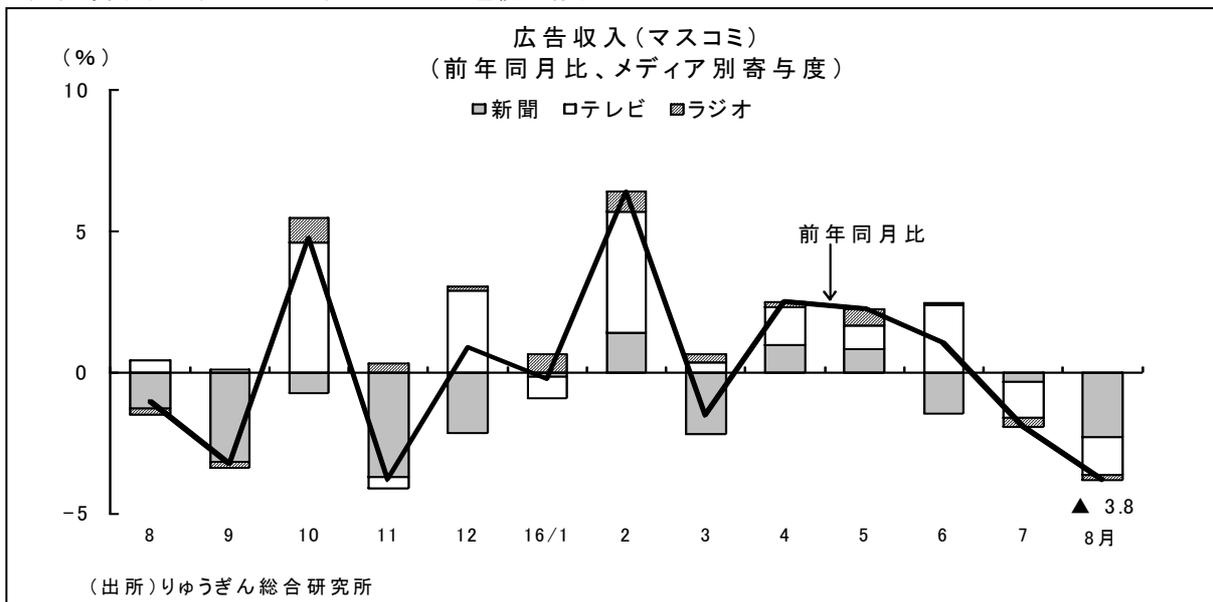
- 消費者物価指数（8月）は、前年同月比 0.3%減と 4 カ月連続で前年を下回った。生鮮食品を除く総合は同 0.2%減と前年を下回った。
- 品目別の動きをみると、食料などが上昇し、光熱・水道および交通・通信などは下落した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに減少



- 倒産件数は、2件で前年同月を6件下回った。業種別では、卸売業1件（同1件増）、サービス業1件（同数）であった。
- 負債総額は、2億4,000万円となり、前年同月比63.0%の減少だった。

(4) 広告収入（マスコミ）：2カ月連続で減少



- 広告収入（マスコミ：8月）は、前年同月比3.8%減となり、2カ月連続で前年を下回った。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19

沖縄県内の主要経済指標(その1)

| 暦年 | 百貨店 売上高 | スーパー 売上高 (既存店) | スーパー 売上高 (全店) | 電気製品 卸売額 | 新車販売 台数 | 中古自動 車販売台 数 | 公共工事請負額 | | 建築着工床面積 | |
|--------|--------------|----------------------|---------------------|-------------|------------|-------------------|------------------|--------|---------|--------|
| | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 百万円 | 前年比 | 千平米 | 前年比 |
| 2013 | 2.5 | 1.0 | 3.4 | 18.1 | 7.1 | 8.9 | 266,778 | 12.2 | 2,137 | 20.8 |
| 2014 | 6.9 | 2.5 | 3.3 | ▲ 6.2 | 7.8 | 4.8 | 294,689 | 10.5 | 2,098 | ▲ 1.8 |
| 2015 | 14.5 | 3.1 | 5.6 | ▲ 6.9 | 7.8 | 2.3 | 321,300 | 9.0 | 2,037 | ▲ 2.9 |
| 2015 8 | 32.7 | 5.5 | 8.6 | ▲ 6.6 | ▲ 2.1 | 1.5 | 23,352 | 0.8 | 223 | 32.4 |
| 9 | 17.3 | 3.6 | 6.8 | 2.4 | ▲ 6.6 | ▲ 10.8 | 30,835 | ▲ 2.1 | 159 | 16.5 |
| 10 | 12.3 | 3.2 | 6.4 | 13.8 | ▲ 6.1 | 6.6 | 48,301 | 74.7 | 192 | 51.9 |
| 11 | 3.8 | 1.5 | 4.7 | ▲ 2.0 | ▲ 13.1 | 7.5 | 14,816 | ▲ 15.4 | 185 | 34.1 |
| 12 | 4.2 | 1.6 | 4.1 | 7.6 | ▲ 11.4 | ▲ 0.7 | 19,114 | ▲ 16.8 | 135 | ▲ 31.1 |
| 2016 1 | 4.0 | 5.8 | 8.5 | 9.8 | ▲ 3.8 | ▲ 0.7 | 12,202 | ▲ 15.0 | 215 | 69.9 |
| 2 | 10.5 | 8.4 | 11.1 | 2.3 | 0.5 | 5.5 | 44,788 | 76.4 | 154 | ▲ 0.7 |
| 3 | 0.7 | 1.0 | 3.3 | ▲ 4.1 | ▲ 9.6 | 2.5 | 39,972 | ▲ 24.7 | 120 | ▲ 16.1 |
| 4 | 4.9 | 4.7 | 6.2 | 11.1 | 22.3 | 0.6 | 17,690 | 47.5 | 182 | ▲ 12.2 |
| 5 | 1.8 | 5.4 | 6.1 | 7.0 | 20.5 | 13.8 | 14,261 | 16.8 | 119 | ▲ 25.3 |
| 6 | 4.1 | 3.3 | 4.1 | ▲ 9.9 | 2.0 | 4.3 | 23,421 | ▲ 31.8 | 188 | ▲ 1.2 |
| 7 | 13.9 | 4.5 | 4.7 | 1.0 | 0.4 | 1.2 | 34,156 | 2.0 | 163 | 0.3 |
| 8 | ▲ 0.9 | 0.1 | 0.5 | 2.9 | 15.6 | 14.9 | 24,997 | 7.0 | 120 | ▲ 46.2 |
| 9 | 2.0 | 1.7 | 1.9 | 0.5 | ▲ 5.2 | 3.1 | 37,867 | 22.8 | - | - |
| 出所 | りゅうぎん総合研究所調べ | | | | 自販協 | 中古 自販協 | 西日本建設業保証 沖縄支店 | | 国土交通省 | |

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

| 暦年 | 新設住宅着工戸数 | | 建設 受注額 | セメント 出荷数量 | 生コン 出荷数量 | 鋼材 売上高 | 木材 売上高 | 観光施設 入場者数 | ゴルフ場 入場者数 | 広告 収入 |
|--------|----------|--------|--------------|--------------|-------------|-----------|-----------|--------------|--------------|----------|
| | 戸 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 |
| 2013 | 16,618 | 30.7 | 11.3 | 7.3 | 13.1 | 15.2 | 10.3 | 9.2 | 3.5 | 0.4 |
| 2014 | 15,426 | ▲ 7.2 | 10.7 | 18.3 | 4.6 | 9.4 | 9.1 | 6.7 | 0.7 | 4.0 |
| 2015 | 16,136 | 4.6 | 22.7 | 3.4 | ▲ 1.2 | ▲ 11.0 | ▲ 5.0 | 6.2 | 4.1 | ▲ 1.2 |
| 2015 8 | 1,764 | 19.0 | ▲ 32.9 | 11.5 | 8.7 | ▲ 21.0 | ▲ 15.0 | 6.1 | 3.5 | ▲ 1.0 |
| 9 | 1,527 | 17.4 | 100.2 | 5.3 | 5.0 | ▲ 6.3 | ▲ 2.2 | 10.9 | 4.8 | ▲ 3.3 |
| 10 | 1,118 | 9.8 | 58.9 | ▲ 0.2 | ▲ 5.9 | ▲ 11.5 | ▲ 14.2 | 13.6 | 21.3 | 4.8 |
| 11 | 1,306 | 7.4 | 7.0 | ▲ 5.3 | ▲ 14.5 | ▲ 2.4 | ▲ 5.6 | 2.7 | 0.3 | ▲ 3.8 |
| 12 | 1,306 | ▲ 4.5 | 74.8 | ▲ 9.4 | ▲ 13.9 | ▲ 13.2 | ▲ 4.4 | ▲ 1.8 | 1.6 | 0.9 |
| 2016 1 | 1,366 | 15.7 | 125.1 | ▲ 16.4 | ▲ 20.4 | ▲ 21.1 | ▲ 8.4 | 2.6 | ▲ 11.1 | ▲ 0.2 |
| 2 | 1,000 | ▲ 25.3 | 11.7 | ▲ 1.8 | ▲ 13.8 | ▲ 3.7 | ▲ 3.9 | 4.1 | ▲ 3.9 | 6.4 |
| 3 | 1,062 | 8.4 | 20.8 | ▲ 10.8 | ▲ 26.4 | ▲ 24.4 | ▲ 6.2 | ▲ 3.9 | ▲ 3.5 | ▲ 1.5 |
| 4 | 1,409 | 20.2 | ▲ 1.5 | ▲ 8.8 | ▲ 17.3 | ▲ 11.8 | ▲ 5.5 | 0.1 | ▲ 3.8 | 2.5 |
| 5 | 1,085 | ▲ 13.5 | 5.2 | ▲ 0.7 | ▲ 3.6 | ▲ 14.5 | 0.6 | 6.3 | 0.5 | 2.3 |
| 6 | 1,535 | ▲ 16.0 | ▲ 36.4 | ▲ 0.3 | ▲ 10.1 | ▲ 24.6 | ▲ 5.2 | 8.2 | ▲ 6.3 | 1.0 |
| 7 | 1,432 | 5.1 | 8.4 | ▲ 13.4 | ▲ 25.6 | ▲ 13.7 | ▲ 15.9 | 8.5 | 15.5 | ▲ 1.9 |
| 8 | 1,082 | ▲ 38.7 | 29.0 | ▲ 11.4 | ▲ 17.7 | ▲ 8.6 | ▲ 12.2 | 5.0 | ▲ 1.4 | ▲ 3.8 |
| 9 | - | - | 5.8 | ▲ 17.3 | ▲ 21.7 | ▲ 13.5 | ▲ 13.3 | P 0.9 | ▲ 4.5 | - |
| 出所 | 国土交通省 | | りゅうぎん総合研究所調べ | | | | | | | |

沖縄県内の主要経済指標(その2)

| 暦年 | 入域観光客数 | | 入域観光客数のうち外国客 | | ホテル稼働率(実数) | | ホテル売上高(前年比) | | 鉱工業生産指数(季調値) | |
|--------|------------------|------|--------------|-------|--------------|------|-------------|-------|--------------|--------|
| | 千人 | 前年比 | 千人 | 前年比 | 市内 | リゾート | 市内 | リゾート | 2010年=100 | 前年比 |
| 2013 | 6,413.7 | 9.9 | 550.8 | 46.2 | 75.3 | 73.4 | 2.3 | 4.6 | 102.5 | 6.3 |
| 2014 | 7,058.3 | 10.1 | 893.5 | 62.2 | 79.0 | 77.8 | 5.1 | 5.0 | 104.6 | 2.0 |
| 2015 | 7,763.0 | 10.0 | 1,501.2 | 68.0 | 81.8 | 78.9 | 4.5 | 7.2 | 100.4 | ▲ 4.0 |
| 2015 8 | 797.5 | 8.8 | 154.7 | 83.7 | 87.1 | 87.2 | 10.0 | 4.3 | 97.1 | ▲ 5.1 |
| 9 | 724.7 | 10.0 | 149.6 | 49.7 | 89.3 | 89.1 | 16.3 | 14.4 | 98.1 | ▲ 11.3 |
| 10 | 696.8 | 18.9 | 145.1 | 54.7 | 82.9 | 86.0 | 14.9 | 19.2 | 95.6 | ▲ 12.8 |
| 11 | 619.6 | 9.8 | 113.4 | 101.1 | 83.1 | 74.1 | ▲ 1.2 | 7.2 | 101.8 | ▲ 6.3 |
| 12 | 613.6 | 11.7 | 128.3 | 98.3 | 71.7 | 60.6 | ▲ 4.3 | ▲ 2.1 | 102.6 | ▲ 9.2 |
| 2016 1 | 581.6 | 9.7 | 114.9 | 69.2 | 79.1 | 71.4 | 0.6 | ▲ 0.1 | 88.6 | ▲ 13.9 |
| 2 | 622.5 | 13.0 | 149.9 | 72.9 | 89.4 | 82.3 | 9.3 | 5.5 | 88.7 | ▲ 16.2 |
| 3 | 709.2 | 7.6 | 137.9 | 74.6 | 81.2 | 77.0 | 0.6 | 2.6 | 106.5 | 1.0 |
| 4 | 681.5 | 7.3 | 162.2 | 24.2 | 80.2 | 78.8 | 12.3 | 7.7 | 98.1 | ▲ 6.9 |
| 5 | 684.6 | 12.0 | 206.5 | 54.5 | 74.2 | 73.5 | ▲ 3.6 | ▲ 1.9 | 84.5 | ▲ 9.0 |
| 6 | 714.4 | 17.1 | 215.9 | 44.7 | 79.2 | 80.2 | 8.4 | 10.5 | 93.1 | ▲ 7.0 |
| 7 | 805.8 | 12.9 | 217.3 | 33.3 | 84.6 | 85.9 | 9.1 | 3.3 | 96.7 | ▲ 9.4 |
| 8 | 926.9 | 16.2 | 232.0 | 50.0 | 88.3 | 90.3 | 6.9 | 6.4 | - | - |
| 9 | 793.0 | 9.4 | 203.4 | 36.0 | P 89.7 | 90.4 | P ▲ 1.4 | 0.8 | - | - |
| 出所 | 県文化観光スポーツ部 観光政策課 | | | | りゅうぎん総合研究所調べ | | | | 県企画部統計課 | |

注) ホテルは、2016年7月より調査先が26ホテルから25ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2013年11月より2010年=100に改定された。

| 暦年 | 企業倒産件数 | 負債総額 | | 消費者物価指数 | 失業率(季調値) | 就業者数 | 有効求人倍率(季調値) | 新規求人数(県内) | 通関輸出 | 通関輸入 |
|--------|--------------|--------|---------|---------|----------|-------|-------------|-----------|--------|---------|
| | 件 | 百万円 | 前年比 | 前年比 | % | 前年比 | 倍 | 前年比 | 百万円 | 百万円 |
| 2013 | 79 | 38,418 | 257.5 | 0.3 | 5.8 | 2.4 | 0.53 | 17.0 | 83,423 | 309,989 |
| 2014 | 78 | 10,112 | ▲ 73.7 | 2.5 | 5.4 | 0.5 | 0.69 | 14.7 | 80,589 | 380,584 |
| 2015 | 68 | 10,387 | 2.7 | 0.6 | 5.2 | 2.9 | 0.84 | 12.1 | 42,785 | 267,346 |
| 2015 8 | 6 | 2,936 | 321.2 | 0.0 | 4.6 | 4.3 | 0.86 | 5.5 | 1,333 | 22,386 |
| 9 | 8 | 649 | ▲ 19.7 | ▲ 0.2 | 5.0 | 5.4 | 0.88 | ▲ 1.6 | 1,335 | 14,199 |
| 10 | 3 | 333 | ▲ 57.0 | 0.0 | 5.3 | 3.1 | 0.89 | 23.7 | 1,553 | 22,800 |
| 11 | 6 | 665 | 36.6 | 0.2 | 4.7 | 2.7 | 0.90 | 6.3 | 9,181 | 29,089 |
| 12 | 7 | 919 | 14.0 | 0.1 | 5.4 | 1.8 | 0.91 | 7.0 | 1,670 | 13,831 |
| 2016 1 | 5 | 375 | 0.0 | ▲ 0.1 | 4.8 | 3.6 | 0.90 | 10.6 | 1,079 | 27,789 |
| 2 | 5 | 282 | ▲ 80.6 | 0.5 | 4.3 | 5.6 | 0.91 | 22.8 | 1,189 | 16,699 |
| 3 | 5 | 2,050 | 354.5 | 0.4 | 4.5 | 3.6 | 0.92 | 11.6 | 4,536 | 22,168 |
| 4 | 5 | 596 | 861.3 | 0.3 | 5.3 | 0.0 | 0.94 | 2.3 | 1,817 | 9,279 |
| 5 | 3 | 122 | ▲ 61.0 | ▲ 0.2 | 5.1 | 1.2 | 0.98 | 15.7 | 3,740 | 12,197 |
| 6 | 4 | 110 | ▲ 79.9 | ▲ 0.1 | 5.0 | 0.7 | 1.01 | 16.9 | 3,841 | 20,926 |
| 7 | 0 | 0 | ▲ 100.0 | ▲ 0.3 | 4.5 | 0.5 | 1.04 | ▲ 0.1 | 996 | 11,607 |
| 8 | 4 | 143 | ▲ 95.1 | ▲ 0.3 | 3.5 | 1.4 | 1.00 | 12.1 | 1,166 | 19,293 |
| 9 | 2 | 240 | ▲ 63.0 | - | - | - | - | - | 1,153 | 7,114 |
| 出所 | 東京商工リサーチ沖縄支店 | | | 県企画部統計課 | | 沖縄労働局 | | 沖縄地区税関 | | |

注) 消費者物価指数は、2016年7月より2015年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2015年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

沖縄県内の金融統計

| 年度 | 銀行券 発行額 | 銀行券 還収額 | 銀行券 増減 (▲還収超) | 貸出 金利 (地銀3行) | 手形交換高(金額は億円) | | | | 不渡実数 (金額) | 不渡 発生率 |
|--------|------------|------------|---------------------|--------------------|--------------|--------|-------|--------|--------------|-----------|
| | 億円 | 億円 | 億円 | % | 千枚 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 百万円 | % |
| 2013FY | 3,137 | 4,260 | ▲ 1,120 | 2.065 | 267 | ▲ 2.3 | 4,420 | 2.2 | 505 | 0.114 |
| 2014FY | 3,140 | 4,405 | ▲ 1,320 | 1.955 | 253 | ▲ 5.4 | 4,162 | ▲ 5.8 | 349 | 0.084 |
| 2015FY | 3,247 | 4,470 | ▲ 1,225 | 1.822 | 245 | ▲ 3.1 | 4,129 | ▲ 0.8 | 331 | 0.080 |
| 2015 8 | 256 | 375 | ▲ 118 | 1.875 | 20 | 7.3 | 332 | 10.3 | 34 | 0.102 |
| 9 | 265 | 444 | ▲ 179 | 1.866 | 20 | ▲ 13.6 | 361 | ▲ 9.6 | 40 | 0.112 |
| 10 | 235 | 359 | ▲ 124 | 1.858 | 18 | ▲ 15.5 | 277 | ▲ 19.1 | 49 | 0.176 |
| 11 | 230 | 304 | ▲ 73 | 1.845 | 21 | 22.0 | 373 | 47.9 | 31 | 0.084 |
| 12 | 593 | 165 | 427 | 1.822 | 20 | ▲ 10.0 | 313 | ▲ 8.8 | 18 | 0.059 |
| 2016 1 | 110 | 587 | ▲ 477 | 1.807 | 18 | ▲ 3.0 | 286 | ▲ 0.7 | 17 | 0.061 |
| 2 | 253 | 352 | ▲ 99 | 1.794 | 22 | 13.3 | 348 | 8.0 | 29 | 0.085 |
| 3 | 306 | 415 | ▲ 109 | 1.758 | 21 | ▲ 10.4 | 371 | ▲ 9.6 | 79 | 0.213 |
| 4 | 293 | 253 | 39 | 1.749 | 17 | ▲ 17.6 | 297 | ▲ 21.2 | 10 | 0.034 |
| 5 | 161 | 479 | ▲ 317 | 1.723 | 22 | 15.7 | 388 | 27.2 | 27 | 0.069 |
| 6 | 201 | 329 | ▲ 127 | 1.696 | 21 | ▲ 13.9 | 346 | ▲ 16.8 | 5 | 0.015 |
| 7 | 222 | 356 | ▲ 133 | 1.683 | 18 | ▲ 17.0 | 270 | ▲ 27.5 | 13 | 0.049 |
| 8 | 257 | 402 | ▲ 144 | 1.669 | 22 | 9.9 | 397 | 19.6 | 1 | 0.001 |
| 9 | - | - | - | - | 19 | ▲ 5.8 | 306 | ▲ 15.2 | 26 | 0.084 |
| 出所 | 日本銀行那覇支店 | | | | 那覇手形交換所 | | | | | |

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

| 年度 | 地銀3行預金量 (信託勘定含む未残) | | 地銀3行融資量 (信託勘定含む未残) | | 県内金融機関 の預金残高 | | 沖縄振興開発 金融公庫融資量 (未残) | | 沖縄県信用保証協会 債務残高(未残) | |
|--------|-----------------------|-------|-----------------------|-----|-----------------|-----|---------------------------|-------|-----------------------|-------|
| | 億円 | 前年比 | 億円 | 前年比 | 億円 | 前年比 | 億円 | 前年比 | 億円 | 前年比 |
| 2013FY | 42,266 | 1.4 | 29,713 | 4.3 | 41,516 | 3.3 | 8,176 | ▲ 8.5 | 1,554 | ▲ 7.9 |
| 2014FY | 44,575 | 5.5 | 31,332 | 5.5 | 42,849 | 3.2 | 8,152 | ▲ 0.3 | 1,391 | ▲ 8.8 |
| 2015FY | 45,359 | 1.8 | 33,039 | 5.4 | 44,933 | 4.9 | 8,057 | ▲ 1.2 | 1,278 | ▲ 8.1 |
| 2015 8 | 45,012 | 3.9 | 31,121 | 5.1 | 45,584 | 5.4 | 7,902 | ▲ 0.3 | 1,290 | ▲ 9.7 |
| 9 | 45,243 | 3.6 | 31,637 | 4.9 | 45,923 | 5.2 | 7,801 | ▲ 3.2 | 1,310 | ▲ 8.6 |
| 10 | 45,108 | 5.2 | 31,373 | 4.7 | 45,655 | 5.7 | 7,834 | ▲ 2.4 | 1,308 | ▲ 8.6 |
| 11 | 45,602 | 4.4 | 31,688 | 5.4 | 45,856 | 5.5 | 7,837 | ▲ 1.9 | 1,302 | ▲ 7.2 |
| 12 | 45,717 | 4.7 | 32,188 | 5.9 | 45,874 | 5.2 | 7,827 | ▲ 1.4 | 1,292 | ▲ 8.5 |
| 2016 1 | 44,840 | 3.5 | 32,144 | 5.7 | 45,598 | 4.6 | 7,782 | ▲ 1.7 | 1,275 | ▲ 9.5 |
| 2 | 45,128 | 3.5 | 32,402 | 5.9 | 45,393 | 5.1 | 7,738 | ▲ 1.9 | 1,269 | ▲ 8.9 |
| 3 | 45,359 | 1.8 | 33,039 | 5.4 | 45,407 | 4.3 | 8,057 | ▲ 1.2 | 1,278 | ▲ 8.1 |
| 4 | 45,990 | 2.5 | 32,323 | 5.7 | 46,378 | 4.2 | 7,977 | ▲ 1.6 | 1,236 | ▲ 7.8 |
| 5 | 46,155 | 2.5 | 32,543 | 5.9 | 46,639 | 4.6 | 7,914 | ▲ 1.9 | 1,213 | ▲ 7.7 |
| 6 | 46,170 | 2.0 | 32,754 | 6.3 | 47,362 | 4.7 | 7,869 | ▲ 1.8 | 1,211 | ▲ 7.0 |
| 7 | 45,893 | 1.8 | 32,834 | 6.0 | 47,434 | 3.9 | 7,841 | ▲ 1.1 | 1,215 | ▲ 6.3 |
| 8 | 45,580 | 1.3 | 33,031 | 6.1 | 47,100 | 3.3 | 7,931 | 0.4 | 1,219 | ▲ 5.5 |
| 9 | 45,177 | ▲ 0.1 | 33,389 | 5.5 | - | - | - | - | - | - |
| 出所 | 沖縄県銀行協会 | | 沖縄県銀行協会 | | 日本銀行那覇支店 | | 沖縄振興開発金融 公庫 | | 沖縄県信用保証協会 | |

注) 県内金融機関の預金残高は、14年6月分より県内に所在する国内銀行および信用金庫の集計値へ変更になったため遡及改訂した。

なお、県内金融機関の預金残高は実質預金(総預金から小切手・手形を差し引いたもの)の集計値で、年度の残高は年度中の平残。